活用調査表

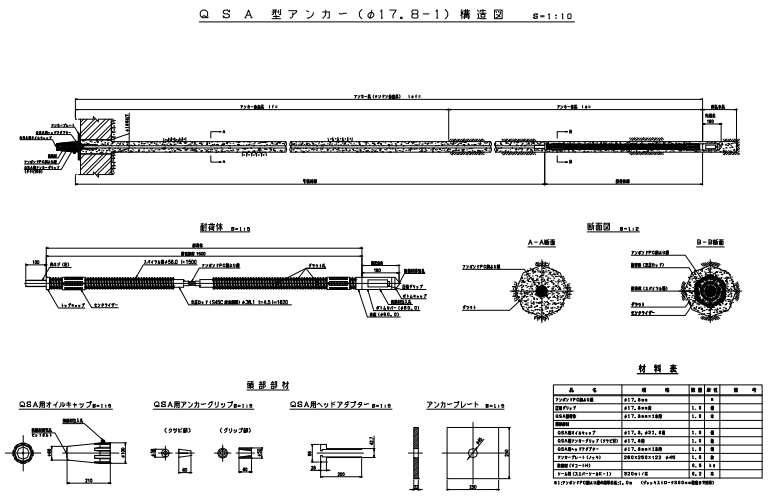
様式6

技術名	登録 No.
くさび定着方式周面摩擦先端圧縮型永久アンカー	18D1043

施工内容

工 事 名　:H17 災関地渓 第39-00-00-03号
楢木地区災害関連緊急地すべり対策
(法枠工)その1工事
施工数量　:　184本

工　　期　:　17年11月4日～18年12月28日



概　要

法面整形3,770㎡・掘削3,100㎡・植生基材(3cm)360㎡(5cm)7,970㎡・吹付枠(500×500)1,304m(300×300)2,518m・枠内植生(3cm)2,330㎡・Aタイプアンカー2,832m・足場工6,110㎥・山腹水路工496m・工事用道路1式・グランドアンカー基本試験費1式

特　徴

・テンドン構成部材(耐荷体)にスパイラル筋を用いグラウト圧縮応力の分散を図っている。
・対応アンカー引張力を343kN以下とし、部材を簡素化している。
・部材の簡素化によりテンドン構成部材のコストを削減できる。

実施結果

比較した従来技術
「ナット定着方式周面摩擦先端圧縮型アンカー」
・材料費が2割程安価となった。
・施工性が良いことから、工期短縮が図れた。
・スパイラル筋の採用により、グラウトが割裂破壊しにくい。
・構造がシンプルであり、また軽量であることから、施工時の安全性や施工性が向上した。

トライアル工事での評価結果

○	経済性	○	安全性
○	工程	○	施工性
○	品質	○	環境

◎:優れている　○:やや優れている
□:従来技術と比べて同程度
△:やや劣っている　×:劣っている

新技術問い合わせ先

会社名　:㈱ユーアンドエム
所属部課:
担当者　:諸橋 篤史
ＴＥＬ　:0258-53-6918